

『さっきゃま魂』

R5. 5. 9 第3号

発行人：校長 中山 末永

ゴールデンウィークが終わって・・・

楽しみにしていたゴールデンウィークが終わり、また元気な子ども達の声が学校中に響いています。月曜日の朝を迎えるまでは、「欠席は・・・」と心配していましたが、休みの疲れも見せず、34名全員が元気に登校し、ほっとしました。

今朝、2年生の子どもから声をかけられました。

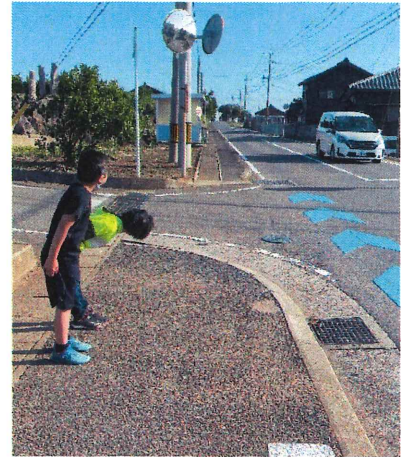
「校長先生、私も挨拶運動がしたい！」

そこで、校門を下った交差点のところ立って、登校してくる友達や県道を通る車を、元気な挨拶で迎えることにしました。

低学年の子どもにとっては初めて経験する挨拶運動でしたが、これまで高学年の姿を見ていたこともあり何の心配もありません。私が声をかけなくても、目の前を通り過ぎる車に丁寧にお辞儀をしています。車を運転している人も、にこにこしながら頭を下げていきます。子ども達も、その反応をうれしがり、ますますやる気アップです。

登校してきた友達にも、自分から元気よく挨拶し、そこから楽しい会話も始まりました。そのような子ども達の姿を見ながら、「本物の挨拶だなあ〜」と感じました。思いもよらない子どもの一言で始まった挨拶運動で、私にとっても清々しい1日のスタートになりました。

挨拶運動が終わって学校に戻ると、玄関掃除を頑張っている高学年がいます。運動場では、走ろう運動を頑張っている子どもがいます。花壇や植木鉢に水やりをしている子どももいます。それぞれが、良いリズムで1日の学校生活を始めていることをとても嬉しく思いました。



崎小での生活「あと〇日」

「崎小って、あと何日？」

登校してきた子どもから声をかけられました。そのときは、正確な日数を確認していなかったもので、「もう200日もないよ。」と答えました。後日、また同じ質問をされたので、「あと〇日だよ！」と答えると、なんともいえない反応でした。

子ども達が、統合をどのように受け止めているのかよく分かりませんが、崎小での学校生活が残り少なくなってきたことに寂しさを感じているようでした。そのような子ども達の思いに寄り添いつつ、今後の教育活動をますます充実させることによって、「楽しい思い出がいっぱいの1年」となるよう、1日1日を大切に過ごしていきたいと思えます。

そのような思いを込めて、校長室前に「閉校までのカウントダウンボード」を作りました。毎朝その数字を入れ替えることが私の日課になっていますが、それを見た子ども達も「今日も頑張ろう！」という気持ちになってくれたらと思っています。

校門前には、坂井 PTA 会長様に作っていただいた看板を立てる準備をしています。色塗り作業も順調に進み、もうすぐ完成する予定です。

カウントダウンの数字を見ることで、みんなの心が一つになり、悔いの無い150年のゴールを迎えたいと思っています。

